

行政相談委員に安部純生さん就任



行政相談委員の松崎富士夫さんの退任に伴い、七月一日付けで安部純生さん（下横田）が就任されました。任期は平成二十七年三月三十一日までです。よろしく願います。

「ねがいましては」そろばん大会で腕を競う

八月一日、第四十七回雲州そろばん珠算競技大会が町民体育館で開催されました。

この大会は、珠算技術の向上と基礎学力の増進、雲州そろばんを通じた地域振興を目的に、奥出雲町商工会と雲州算盤協同組合が毎年開催しています。

今大会から小学校二年生以下の部が創設され、中四国や関西地方などの小学生から大人まで二百十一人が出場。このうち、町内からは十五人の小中学生が出場し、日頃の成果を競い合いました。

競技は、小学校低学年、中学年、高学年、中学生以上の四部門に分かれて、見取り算や読み上げ算、フラッシュ暗算などが行われました。

勝ち残り方式で行われた個人競技では、難易度の高い問題でもな

かなか決着がつかず、レベルの高い競技が展開されました。緊張感に満ちた会場は「始め」の合図と同時にパチパチとそろばんをはじく音が響き、選手たちは真剣な眼差しで取り組みました。



▲真剣な表情で問題に取り組む子どもたち

第三十回 中国小学生ホッケー交流大会

七月十九日と二十日の二日間、三成公園人工芝ホッケー場で第三十一回目となる中国小学生ホッケー交流大会が開催されました。今年は中国五県から二十九チーム（町内十八チーム）、大阪府から一チームの男女合わせて三十チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

炎天下の中、家族やチームメイトから盛んな声援を受けながら、選手たちは一生懸命ボールを追いかけていました。

大会成績

【男子一部】

優勝

みなり馬木ホッケースポーツ少年団

準優勝

横小ホッケースポーツ少年団

【男子二部】

優勝

横小フレイムフェックス

準優勝

高田パワーズ

【女子一部】

優勝

みなり馬木ホッケースポーツ少年団

準優勝

瀬戸チエリーズ



第2回 仁多米カップフットサル大会開催

7月26日と27日、第2回仁多米カップフットサル大会が町民体育館と奥出雲スポーツセンターで開催されました。

「フットサル」は主に室内で行う5人制のミニサッカーで、サッカーより簡単にできるようなルールが工夫されており、子どもから中高年、また女性でも気軽に参加できるスポーツとして人気があります。

今大会は、少年サッカークラブ「仁多FC」の結成20周年を記念して、仁多FCと奥出雲仁多米(株)が主催。県内外から強豪チーム10チーム、約100人が参加し白熱した試合が展開されました。

蒸し暑い体育館の中、選手たちは汗を流しながら懸命にプレーし、技術交流と親睦を深めま

した。また、素早いパス回しや攻守が目まぐるしく入れ替わる迫力ある試合に、応援席も盛り上がりました。



▲白熱した試合の様子

ダムに見える牧場

子どもたちのペイントで華やかに！

8月5日、尾原ダム近くにある「ダムに見える牧場」で、牧場倉庫（縦18メートル、横9メートル）の白い壁に色を塗るイベントが行われ、町内外から約40人の親子が参加しました。

このイベントは、牧場を明るくしようと牧場主の大石亘太さん（亀嵩）とデザイナーの大塚里恵さん（中村）の企画で行われました。

はじめに、子ども達は牛の餌やり体験をしてから、ピンク、オレンジ、黄色、若草色、水色の5色の水性ペンキを使って、大塚さんが事前に描いた牛の下絵に親子で思い思いの色を塗りました。

子ども達の遊び感覚と自由な発想によるペイントによって、華やかで明るい雰囲気牧場になりました。

尾原ダム周辺の新名所になりつつある「ダムに見える牧場」のPRになったとともに、参加した親子にとって夏休みのよい思い出となりました。



◀壁の絵に好きな色を塗る子どもたち

船通山山頂で宣揚祭



スサノオノミコト

須佐之男命がヤマタノオロチを退治した時に尾から「天叢雲剣」が現れたという神話の舞台である船通山の山頂で7月28日、恒例の宣揚祭が行われました。

夏空の下で行われた神事では、鳥上小学校5、6年生の児童による古事記の朗読や、須佐之男命に扮した宮司によって悪をなぎ払う勇壮な剣舞が奉納され、県内外から訪れた約350人の参加者を魅了しました。

このあと、関係者が玉串を捧げて夏山の安全と地域の繁栄を祈願。

また、餅まきやモンデンモモさんによる歌の披露もあり、厳かな中にも賑やかな祭りとなりました。

▶

古事記を朗読する児童たち

